

第3期中期目標期間（6年目終了時）に係る 業務実績等の評価結果における他大学との比較

1. 制度概要

国立大学法人法に基づき、文部科学省国立大学評価委員会が各国立大学法人の中期目標（1期 計6年間）の達成状況を評価するもの（H16年度から導入）。

今回の評価結果は、第3期中期目標期間（H28～R3年度）の実績にかかるものであり、既に4年間（H28～R1年度）の評価は実施済みであることから、この結果に残り2年間（R2～3年度）の実績を加味したものとなる。

2. 評価項目

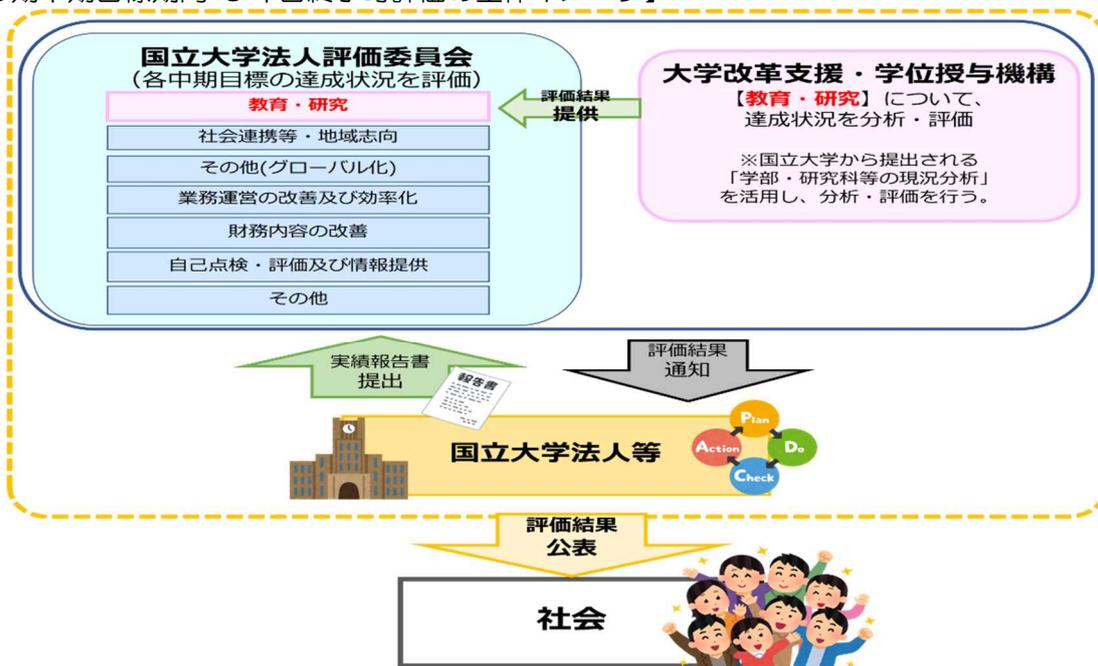
各国立大学法人が作成する業務実績報告書は以下の8項目で構成され、国立大学法人評価委員会は各項目を6段階で評価を行う。ただし、「教育」及び「研究」については専門的な観点からの評価が必要であることから、大学改革支援・学位授与機構が評価する。

【評価8項目】

教育研究等の質の向上の状況	①教育	業務運営・財務内容等の状況	⑤業務運営の改善及び効率化
	②研究		⑥財務内容の改善
	③社会連携等・地域志向		⑦自己点検・評価及び情報提供
	④その他（グローバル化等）		⑧その他業務運営

※①教育・②研究は、国立大学法人評価委員会から、【大学改革支援・学位授与機構】へ評価実施を要請し、その結果を尊重して全体評価を行う。

【第3期中期目標期間 6年目終了時評価の全体イメージ】



3. 評価結果及び他大学（Gグループ）等との比較（ベンチマーク）

他大学等との比較（ベンチマーク）は、国立大学法人評価委員会及び大学改革支援・学位授与機構が公表している情報を基に山梨大学が独自に作成しています。各国立大学法人の中期目標・計画や年度計画の達成状況を評価する指標であり、相対評価の指標ではない点にご注意ください。

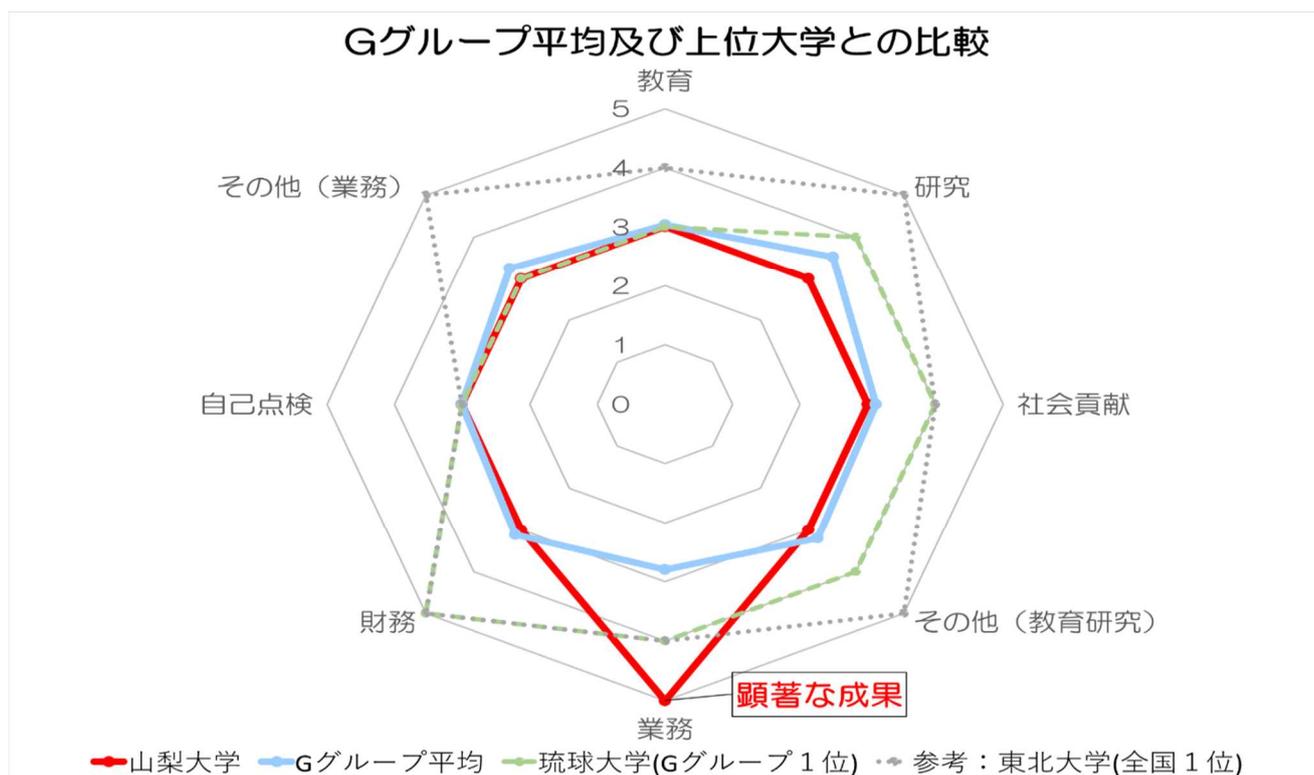
※Gグループ…医科系学部その他の学部で構成され、A～Fのいずれにも属さない国立大学法人（25大学）

a. 評価項目及び評価結果

（評価区分：顕著な成果(5)、上回る成果(4)、達成(3)、概ね達成(2)、不十分(1)、重大な改善(0)）

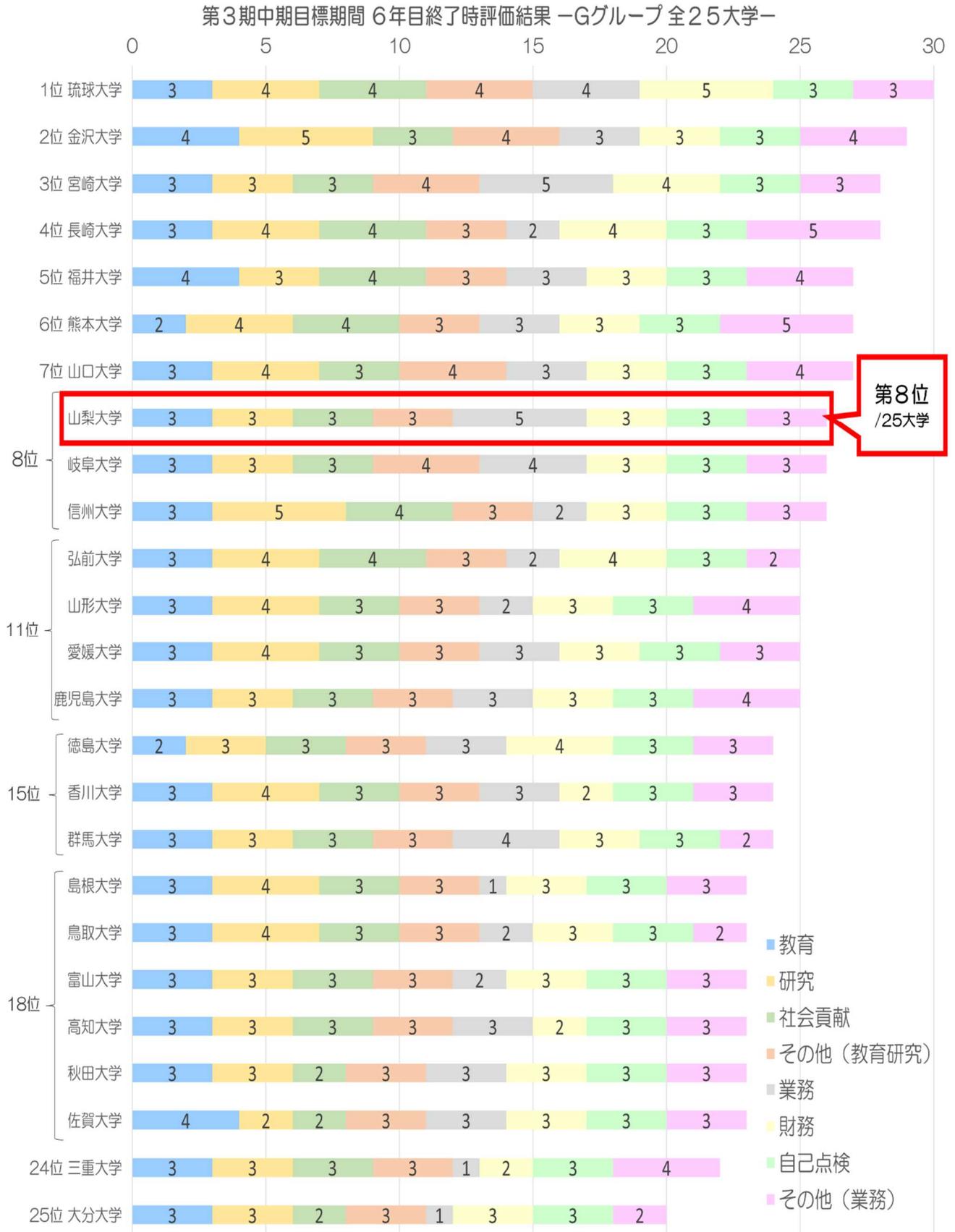
山梨大学	山梨大学	Gグループ平均 (25大学)	琉球大学 (Gグループ1位)	東北大学 (全国1位)
教育研究等の質の向上				
教育	3	3.0	3	4
研究	3	3.5	4	5
社会連携	3	3.1	4	4
その他	3	3.2	4	5
業務運営・財務内容等の状況				
業務運営	5	2.8	4	4
財務内容	3	3.1	5	5
自己点検評価	3	3.0	3	3
その他業務	3	3.2	3	5

b. Gグループ平均及び上位大学との比較

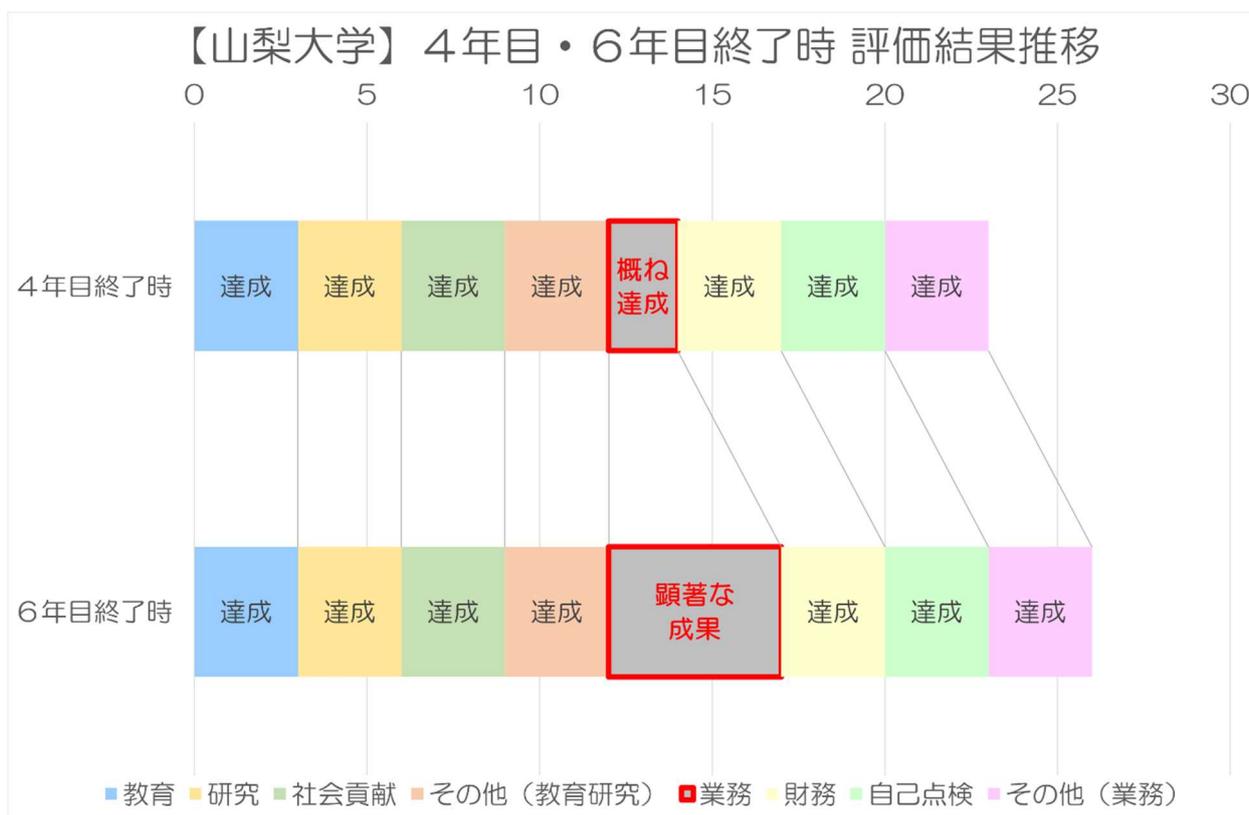


c. Gグループ全体の評価結果

(評価区分：顕著な成果(5)、上回る成果(4)、達成(3)、概ね達成(2)、不十分(1)、重大な改善(0))



d. 本学の4年目・6年目終了時評価結果 推移



【業務運営】 ※評価結果から抜粋

6年目終了時評価において、〔顕著な成果〕 の評価

(特筆すべき点)

大学間連携の強化・推進について “一般社団法人大学アライアンスやまなし” の枠組みを生かし、山梨県立大学と教育 関係事業をはじめ多様な連携事業を展開し、令和3年3月には、同法人が全国初となる「大学等連携推進法人」に認定されている。令和3年4月から教学上の特例措置を活用し“連携開設科目”を開講（令和3年度は52科目、履修者延べ3,067名）しており、令和4年度からは看護学分野の大学院科目（3科目）を連携開設科目として開講することを決定している。さらに、山梨県立大学とのガバナンス連携の取組を加速させるため、「地域人材養成センター」を新設して、人材養成に関する地域・大学連携の取組を強化している。